

第1章 計画の見直しに当たって

1 策定の趣旨

平成24年に「図書館の設置及び運営上の望ましい基準」が告示され、図書館は図書館事業の基本的な運営の方針を策定し、運営の状況について自ら点検及び評価・公表に努めることが示されています。

本市においては、令和2年9月に初めて「黒部市立図書館サービス計画(以下、「サービス計画」という)」が策定され、この中では「旧黒部館」と「宇奈月館」の2館が一体となるようなサービス設計とし、それぞれが役割を果たし効率的に活用できるよう計画しています。

第2次となる今回のサービス計画では、2館を有する黒部市立図書館の課題の把握と分析を行い、その解決に向けた基本の方針を定めて具体的なサービスと指標及び目標の設定を行うことで、より効果的な図書館運営を実施できるよう計画を策定します。

※本計画中、図書館の名称は、黒部の図書館を「あお一よ図書館」、宇奈月の図書館を「宇奈月図書館」とし、2館を総称する場合は「黒部市立図書館」とします。また便宜上、移転前の黒部市立図書館を「旧黒部館」、くろべ市民交流センターあお一よは「交流センター」と呼称します。

「図書館の設置及び運営上の望ましい基準」(平成24年 文部科学省告示第172号)(抜粋)

第二 公立図書館

一 市町村立図書館

1 管理運営

(一) 基本的運営方針及び事業計画

- 1 市町村立図書館は、その設置の目的を踏まえ、社会の変化や地域の実情に応じ、当該図書館の事業の実施等に関する基本的な運営の方針(以下「基本的運営方針」という。)を策定し、公表するよう努めるものとする。
- 2 市町村立図書館は、基本的運営方針を踏まえ、図書館サービスその他図書館の運営に関する適切な指標を選定し、これらに係る目標を設定するとともに、事業年度ごとに、当該事業年度の事業計画を策定し、公表するよう努めるものとする。

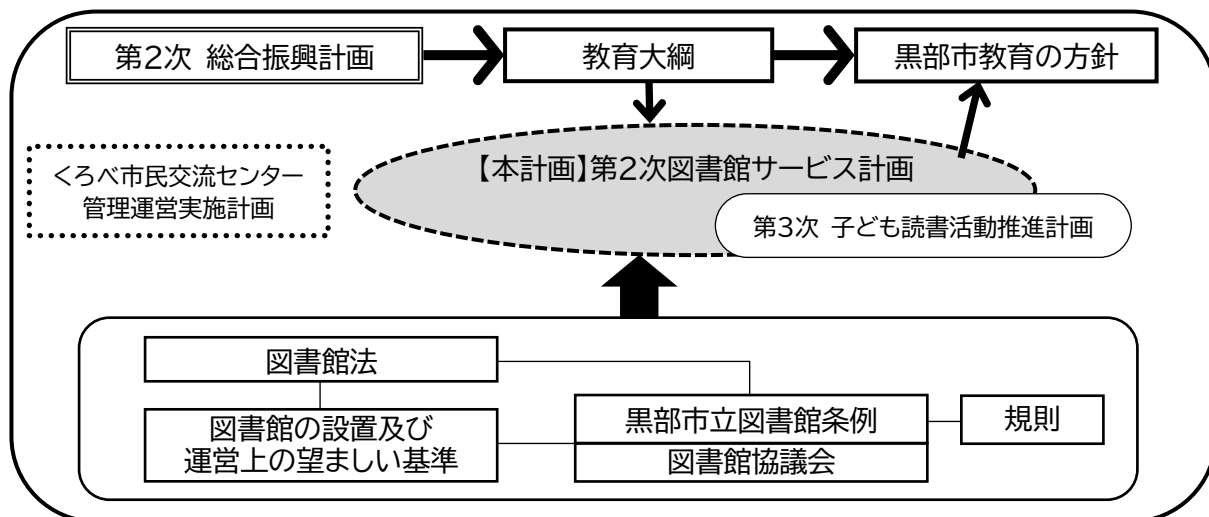
(二) 運営の状況に関する点検及び評価等

- 1 市町村立図書館は、基本的運営方針に基づいた運営がなされることを確保し、その事業の水準の向上を図るため、各年度の図書館サービスその他図書館の運営の状況について、(一)の2の目標及び事業計画の達成状況等に関し自ら点検及び評価を行うよう努めなければならない。
- 2 市町村立図書館は、前項の点検及び評価のほか、当該図書館の運営体制の整備の状況に応じ、図書館協議会の活用その他の方法により、学校教育又は社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者、図書館の事業に関して学識経験のある者、図書館の利用者、住民その他の関係者・第三者による評価を行うよう努めるものとする。

2 位置

サービス計画は、市の最上位計画である「第2次黒部市総合振興計画」(平成30年度～令和9年度)の下、教育に関する部門計画の「黒部市教育大綱」(令和5年度～令和9年度)及び、毎年度更新している「黒部市教育の方針」、さらに総務管理部門の個別計画である令和5年2月に策定された「くろべ市民交流センター管理運営実施計画」との整合性を図り、図書館運営の基本的な方向と具体的な方策を明らかにするものとしています。

また、子どもの読書活動推進を目指し策定した「第3次子ども読書活動推進計画」(令和6年度～令和10年度)とは相互に関連する計画として調和を保つものとしします。



3 計画期間

サービス計画は、第2次総合振興計画と周期を合わせることを基本としていましたが、第1次サービス計画はあおーよ図書館開館に合わせたため、令和5年度までの4年間の計画としたところです。これにより、第2次サービス計画は、第2次総合振興計画(後期)と周期を合わせるため、令和9年度末までの4年間の計画とします。

その上で、社会情勢の変化や利用実績等を踏まえた点検・評価により次期計画の目標設定を行い、PDCAサイクルを回しながら、その結果をその後の取組に反映させていきます。

H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10		
(2015)	(2016)	(2017)	(2018)	(2019)	(2020)	(2021)	(2022)	(2023)	(2024)	(2025)	(2026)	(2027)	(2028)		
第1次(後期)			第2次 総合振興計画(前期)					第2次 総合振興計画(後期)							
教育大綱(3年間)			教育大綱(5年間)					教育大綱(5年間)							
								くろべ市民交流センター 管理運営実施計画							
								図書館サービス計画(4年間)				第2次 サービス計画(4年間)			
第1次推進計画(5年間)			第2次 子ども読書活動推進計画(5年間)					第3次 推進計画(5年間)							
くろべ市民交流センター「あおーよ」開館															

第2章 現状と課題

1 数値に見る図書館サービスの現状

(1) 統計データから

平成30年度以降の黒部市立図書館の統計データは次のとおりです。

① 利用状況

		H30	R元	R2	R3	R4	R5年12月末 (参考:現在値)
旧黒部館	開館日数(日)	294	297	292	288	301	119
	入館者数(人)	83,914	84,161	67,488	64,436	67,099	60,785
	貸出者数(人)	37,098	37,330	31,726	34,309	36,119	18,928
	貸出冊数(冊)	169,431	173,479	154,320	166,659	166,537	78,404
	登録者数(人)	8,481	8,427	8,003	7,874	7,663	9,560
	うち新規(人)	726	683	514	502	538	1,687
宇奈月図書館	開館日数(日)	292	291	293	280	292	223
	入館者数(人)	19,558	20,539	14,774	14,967	15,078	16,746
	貸出者数(人)	8,013	8,318	7,821	7,949	7,874	9,128
	貸出冊数(冊)	31,775	36,104	34,855	35,424	30,766	41,384
	登録者数(人)	2,038	2,059	1,997	1,952	1,915	2,005
	うち新規(人)	151	171	103	244	231	103
合計	開館日数(日)						
	入館者数(人)	103,472	104,700	82,262	79,403	82,177	77,531
	貸出者数(人)	45,111	45,648	39,547	42,258	43,993	28,056
	貸出冊数(冊)	201,206	209,583	189,175	202,083	197,303	119,788
	登録者数(人)	10,519	10,486	10,000	9,826	9,578	11,565
	うち新規(人)	877	854	617	746	769	1,790

『館の概要 令和5年』より 団体貸出を除く・逐次刊行物を含む

「R5年12月末」の数値は、旧黒部館(4/1~5/31)及びあおーよ図書館(10/6~12/28)の合計値(以下同じ) 上記数値は、概ね新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けて減少し、この終息とともに持ち直してはいますが、以前の数値には及びません。

② 図書資料受入状況

		H30	R元	R2	R3	R4	R5年12月末 (参考:現在値)
旧黒部館	受入冊数(冊)	5,682	5,888	5,151	7,495	7,886	3,699
	うち購入(冊)	5,116	4,735	4,656	7,002	7,145	3,367
	うち寄贈(冊)	566	1,153	495	493	741	332
	除籍冊数(冊)	15,222	4,968	12,385	15,506	1,808	26
宇奈月図書館	受入冊数(冊)	1,753	1,912	1,613	1,309	1,071	1,387
	うち購入(冊)	1,244	1,125	1,080	768	799	1,221
	うち寄贈(冊)	509	787	533	541	272	166
	除籍冊数(冊)	16,608	1,329	5,215	1,165	6,488	475
合計	受入冊数(冊)	7,435	7,800	6,764	8,804	8,957	5,086
	うち購入(冊)	6,360	5,860	5,736	7,770	7,944	4,588
	うち寄贈(冊)	1,075	1,940	1,028	1,034	1,013	498
	除籍冊数(冊)	31,830	6,297	17,600	16,671	8,296	501

『館の概要 令和5年』より、除籍冊数のみ『公共図書館調査 令和4年度』より

※逐次刊行物を除く ※除籍冊数は視聴覚資料を含む

受入冊数は、あおーよ図書館開館にともない集中整備しており、この期間を令和7年度まで継続します。

③ 蔵書状況

		H30	R元	R2	R3	R4	R5年12月末 (参考:現在値)
旧黒部館	総冊数(冊)	165,431	166,859	160,305	152,784	159,317	163,162
	一般	118,651	119,046	111,721	106,447	110,467	113,046
	児童	41,469	42,378	42,947	40,676	43,188	44,346
	逐次	3,851	3,965	4,055	4,054	4,070	4,882
	AV	1,460	1,470	1,582	1,607	1,592	1,592
宇奈月図書館	総冊数(冊)	58,689	59,523	56,179	56,638	51,422	52,909
	一般	42,623	43,138	41,014	41,011	38,345	39,495
	児童	13,346	13,719	12,618	12,929	10,814	11,107
	逐次	1,000	939	939	1,071	653	694
	AV	1,720	1,727	1,608	1,627	1,610	1,613
合計	総冊数(冊)	224,120	226,382	216,484	209,422	210,739	216,071
	一般	161,274	162,184	152,735	147,458	148,812	152,541
	児童	54,815	56,097	55,565	53,605	54,002	55,453
	逐次	4,851	4,904	4,994	5,125	4,723	5,576
	AV	3,180	3,197	3,190	3,234	3,202	3,205

『館の概要 令和5年』より

蔵書については、除籍と購入を集中的に行っているため増減を繰り返しています。

(2) 県内自治体との比較(令和4年度)

	人口 (R5・10・1現在)	図書館数	延床面積 (㎡)	蔵書数(※)	人口1人当たり	開架冊数	人口1人当たり	貸出冊数	人口1人当たり	登録者数	登録率(%)	年間購入冊数	人口1人当たり	年間購入費	人口1人当たり (円)
富山市	409,097	25	12,222	1,029,936	2.5	581,067	1.4	1,728,580	4.2	91,327	22%	38,233	0.09	73,000	178
高岡市	163,449	5	5,482	626,219	3.8	319,036	2.0	589,029	3.6	106,398	65%	10,752	0.07	21,993	135
射水市	89,897	4	5,089	420,231	4.7	221,500	2.5	437,378	4.9	50,709	56%	5,736	0.06	9,700	108
砺波市	47,443	2	3,831	352,462	7.4	191,541	4.0	345,399	7.3	32,966	69%	7,134	0.15	10,000	211
南砺市	46,239	5	6,116	503,209	10.9	241,707	5.2	249,862	5.4	31,984	69%	8,112	0.18	14,664	317
氷見市	42,167	1	1,652	268,766	6.4	75,000	1.8	138,911	3.3	3,147	7%	6,190	0.15	10,899	258
魚津市	39,270	1	2,789	302,596	7.7	96,614	2.5	215,219	5.5	31,391	80%	4,270	0.11	9,550	243
黒部市	38,990	2	2,808(旧) 5,198(新)	207,537	5.3	97,011	2.5	197,303	5.1	9,578	25%	8,593	0.22	15,000	385
滑川市	32,159	2	3,559	182,463	5.7	107,324	3.3	151,828	4.7	24,698	77%	3,393	0.11	6,341	197
小矢部市	28,138	1	1,696	156,109	5.5	98,049	3.5	172,528	6.1	8,093	29%	4,134	0.15	6,450	229
立山市	24,194	1	1,200	122,899	5.1	69,608	2.9	116,154	4.8	19,186	79%	2,449	0.10	4,686	194
入善町	22,904	1	1,354	120,453	5.3	57,685	2.5	76,961	3.4	19,861	87%	3,667	0.16	6,815	298
上市町	18,658	1	1,233	89,602	4.8	56,976	3.1	72,259	3.9	9,440	51%	1,625	0.09	3,190	171
朝日町	10,525	1	1,449	129,755	12.3	不明	不明	61,217	5.8	7,430	71%	2,358	0.22	3,973	377
舟橋村	3,193	1	1,367	95,670	30.0	52,628	16.5	77,886	24.4	10,947	343%	2,259	0.71	4,000	1,253
平均	67,755	4	3,503	307,194	7.8	161,839	3.8	308,701	6.2	30,477	75%	7,260	0.17	13,351	304

「公共図書館調査」を基に富山県立図書館がとりまとめた『富山県の公共図書館 令和4年度』より

※視聴覚資料を除く

(3)「図書館の設置及び運営上の望ましい基準」(平成 24 年文部科学省告示第 172 号)

出典:「貸出密度上位の公立図書館整備状況 2011」について(日本図書館協会事務局)

区分	人口	図書館占有 延床面積	蔵書冊数 (※)	開架冊数	登録者数	年間貸出 点数(/人口)	資料費 (/人口)
基準 (上位 10% の平均値)	4~5 万人	3,378 ㎡	240,457 冊	161,386 冊	34,951 人	514,059 点 (11.2 点)	18,446 千円 (405 円)
本市 R4 年度 (2館合計)	39,802 人 (R5.3 月)	2,808 ㎡	202,814 冊	97,011 冊	9,578 人	197,303 点 (5.0 点)	15,000 千円 (377 円)
参考値 R5 年12月末 (2館合計)	39,697 人 (R5.12 月)	5,198 ㎡	207,994 冊	124,348 冊	11,565 人	119,788 点 (3.0 点)	15,000 千円 (378 円)

(※)逐次刊行物・視聴覚資料除く

2 あお一よ図書館、宇奈月図書館及び歴史民俗資料館の連携

(1)現状

あお一よ図書館	<ul style="list-style-type: none"> ・旧黒部市を主とする海側エリアをカバーする地域館に加えて、市内2館体制における中央館 ・「まるごと黒部(黒部編)」設置
	<ul style="list-style-type: none"> ・選書は各館で行うが、重複は最小限に抑え、多種の資料を収集 <p>【共通】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2館の図書資料の運搬は水曜日と金曜日(週2回)(土日祝日は適宜実施)
宇奈月図書館	<ul style="list-style-type: none"> ・旧宇奈月町を主とする山側エリアをカバーする地域館 ・「まるごと黒部(宇奈月編)」設置(歴史民俗資料館と連携) ・歴史民俗資料館事業をサポートする調査研究
	<p>【共通】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・複合施設「うなづき友学館」
歴史民俗資料館	<ul style="list-style-type: none"> ・黒部市の歴史文化への理解を深められる展示、教育普及活動 ・黒部川流域に関する資料の収集、整理、保管及び調査研究 <p><収集テーマ></p> <p>1「黒部の山岳」: 黒部奥山廻り、近代登山、鉱山・治山、電源開発、宇奈月温泉、鉄道等</p> <p>2「黒部川」: 愛本橋、治水・利水(用水)、川の変遷、人々の暮らし、遺跡等</p>

(2)課題

あお一よ図書館	<p>①総合的に「黒部らしさ」という観点から蔵書の資料収集と活用を目指し、宇奈月図書館との役割分担による資料収集管理機能が求められる。</p> <p>②黒部市の自然、歴史、文化の資料を収集・管理する「まるごと黒部(黒部編)」コーナーを設置し、ジオパークを意識した「河川」や「水」、「北方領土」に関する資料の積極的な収集と全国に向けた情報発信を特徴の一つとし、黒部を積極的にアピールする必要がある。</p> <p>③本来の分野別サービスに加えて、各機能が融合したサービスの提供により、利用者間の交流が活発になり、新しい発想や仕組みが生まれる機能融合施設を目指す必要がある。</p> <p>④図書館所蔵以外の文化的、歴史的資料の保存、管理について検討するため、他機関等との連携が必要である。</p> <p>⑤歴史的な文化資源に関する情報を伝えていくことも図書館の使命であることから、歴史民俗資料館との連携を図る必要がある。</p>
宇奈月図書館	<p>①目的意識を持った運営を目指すため、まるごと黒部(宇奈月編)を設置し「山」や「温泉」、「ダム」など黒部らしさを前面に押し出していくことが必要である。</p> <p>②宇奈月図書館は、従来から「黒部峡谷」に関する資料の収集を続けている歴史民俗資料館との複合館で、往時の資料、古文書等も収集する、立地的にも極めて重要な施設であり、文学作品をはじめ電源開発にかかわる貴重な資料や山岳ルートを開拓した先人の業績等の収集管理も、宇奈月図書館の役割とすることが求められる。</p> <p>③市内2館体制における地域館として、黒部の自然、歴史、文化の象徴的施設として位置づけることで、黒部らしさを具現化するとともに、個性的な専門図書館としての確立が求められる。</p> <p>④収蔵スペースに余裕がないため計画的に除籍を進めるとともに、必要に応じてあお一よ図書館と連携して収蔵スペースの確保が必要である。</p>
歴史民俗資料館	<p>①郷土文化保存伝習館の廃止以降は、黒部市で唯一の歴史民俗を収集する資料館となるため、市内各地で保管されている歴史的資料等の情報収集を行い集約し、その機能を十分に果たす必要がある。</p> <p>②資料の収集、整理、保管及び調査研究に関し、図書館との役割分担をしっかりと行い、緊密に連携して業務に当たる。</p> <p>③あお一よ図書館での郷土資料展示による連携が必要である。</p> <p>④図書館と連携し、観光資源としての活用も視野に入れた、効果的な観光情報発信が必要である。</p> <p>⑤収蔵スペース(展示室・収蔵庫)が不足している。</p>

第3章 図書館のサービス展開

1 基本的な考え方

あお一よ図書館と宇奈月図書館の2館が一体となって1つの図書館となるようにサービス設計を行います。

複本を最小限に抑え、できるだけ多種の資料を受け入れます。2つの図書館の間で週に2回の蔵書等の物流を行うことで2つの図書館を1つの図書館として効率的に活用できるよう運用します。

あお一よ図書館は、図書館サービスの中核機能を担う中央館として重点収集分野をおさえた上で、あらゆる分野の資料を幅広くそろえます。

宇奈月図書館は地域館として利用頻度の高い地域住民のニーズの高い資料を中心にそろえ、利用頻度の低いものはあお一よ図書館の蔵書を回送すること及び、あお一よ図書館の蔵書を使った企画展示を多用することで補完します。

交流センターの各分野別サービスに加えて、各機能が連携することで相乗効果を生み出す機能融合事業を「クロスアシスト事業(※)」と称し、利用者間の交流や新たな利用者層の拡大を図ります。

図書館のIC化により利用者の利便性の向上とプライバシーへの配慮に努めます。また、資料貸出券についてもスマートフォンで表示できる「デジタル利用券」を導入し利用者サービスの向上につなげていきます。

雑誌の購入費用をスポンサーに負担してもらい、雑誌のカバーに広告を記載する「雑誌スポンサー制度」を拡充するため、PR活動に努めていきます。

あお一よ図書館では、歴史民俗資料館の資料展示等を行うことで、市民に対する郷土・歴史文化に興味を持つ機会を提供し、市民の知的好奇心を満たすとともに、うなづき友学館への誘導を図ります。

(※)クロスアシスト事業：交流センターに配置される図書館、三日市公民館、子育て支援センター、移住・人つなぎ支援センターなどの機能が単に集合しているだけの施設ではなく、これらの事業主体に加え、交流センター運営の協働パートナーとして、ボランティア等団体(図書館・子育て・芸術文化など)や市民公益活動団体(NPO・男女共同参画・商店街活性化・まちづくり・公共交通など)が連携することで相乗効果を生み出す機能融合事業を「クロスアシスト事業」と称し、「機能融合事業」を目指す。

2 目指すべき方向性

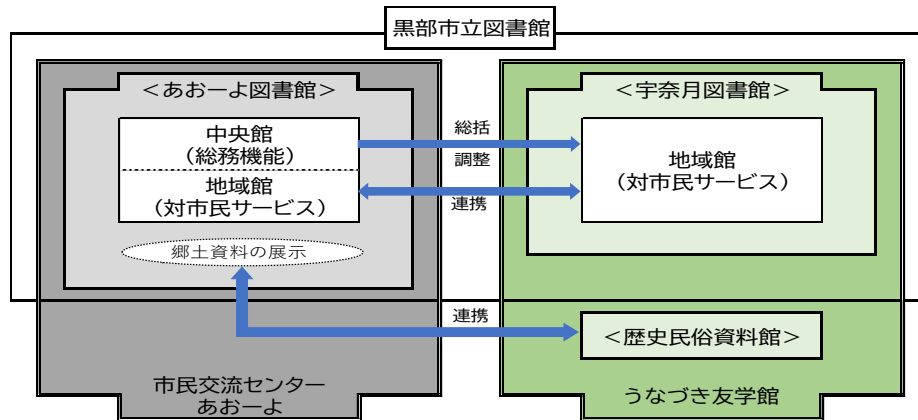
(1)あお一よ図書館は中央館として、宇奈月図書館は地域館として、2館が一体となって市域全体への図書館サービスの拡充を目指します。

(2)中央館としてのあお一よ図書館は重点分野を特定しつつ、あらゆる方面の資料を収集します。

(3)地域館は利用頻度が高い地域住民ニーズの高い資料を中心に収集します。

(4)他機関と連携するクロスアシスト事業(機能融合事業)を推進します。

(5)あお一よ図書館では歴史民俗資料館の資料展示を行います。



※第1次サービス計画では、あおーよ図書館を歴史民俗資料館の分館としての役割を担うこととしていましたが、スペースや業務分担等の現実的な取組を考慮した上で、資料展示を行うこととし、郷土への関心を持つ機会を提供するとともに、歴史文化等の紹介とうなづき友学館への誘導を図るように連携します。

3 あおーよ図書館と宇奈月図書館の役割

(1)あおーよ図書館は中央館として以下の役割を担う

①サービスの中枢機能

- ・2館を連携させて一つの大きな図書館となるよう、中央館の役割として図書館全体のサービス計画の立案
- ・図書館運営の企画、立案、管理
- ・資料収集計画、資料保存計画の立案、調整
- ・サービス網全体の資料収集、図書整理の総括
- ・2館それぞれの地域の特色のある蔵書構成を目指しつつ、偏りがないう調整
- ・企画展の巡回、蔵書の活用、運用ルール取り決めなど、定期的に両館の調整

②連携

- ・他図書館、学校支援、他機関等との相互協力
- ・出前授業、各種研修会等への講師派遣

③生涯学習の拠点

- ・市民が文化、教養を高め、調査研究等のための生涯学習の拠点

④重点収集

- ・宇奈月図書館との役割分担による資料収集
- ・大活字本、大型絵本、岩波新書、岩波ジュニア新書、岩波文庫(※)を重点的に収集する

⑤選書

- ・バランスの取れた蔵書構成とするため、あらゆる分野の資料を幅広く選書
- ・宇奈月図書館と役割分担し、海側エリアの特徴を反映し、利用者ニーズの高い資料の選書

⑥除籍

- ・保存担当館、除籍方法、優先順位、所蔵変更など両館間での調整
- ・除籍対象外資料を、収集担当館に集めて保存するよう調整
- ・基準に応じた除籍

⑦エリア担当

- ・主として海側エリアの情報拠点(2館をつなぐサービスポイント(※))

※岩波新書、岩波ジュニア新書、岩波文庫の全点収集(平成5年から26年まで故・中島昭雄氏より寄贈いただいたことを契機に、現在も図書館予算で収集を継続しています)

※サービスポイント:利用者が図書館サービスを受ける場所

(2)宇奈月図書館は地域館として以下の役割を担う

①連携

・他図書館、学校、他機関等との相互協力

②生涯学習の拠点

・市民が文化、教養を高め、調査研究等のための生涯学習の拠点

③重点収集

・黒部峡谷に関する資料をはじめ、山や温泉、ダムに関する資料の重点収集

④選書

・あお一よ図書館と役割分担し、山側エリアの特徴を反映した、利用者ニーズの高い資料の選書

⑤除籍

・基準に応じた除籍

⑥エリア担当

・主として山側エリアの情報拠点(2館をつなぐサービスポイント)

(3)黒部らしいコンテンツの製作と発信

総合振興計画に挙げられた黒部市の課題「地域資源の活用による交流人口の拡大」の解決を目指すとともに、黒部独自の文化的資源をしっかりと収集保存し、公開することを目的として、2館ともに「まるごと黒部」コーナーを設置しました。その内容は、地元黒部に関する地域資料を中心に、黒部らしいテーマについて調査研究をするための資料を2館で調整して収集し、それぞれに特色を持ったコレクションとなるよう構成し、地域の子どもたちに郷土愛を育むふるさと教育につなげるとともに、このコーナーを目当てに黒部市に来てもらえるような内容となるよう計画的に充実を図ります。

収集・保存の担当館は以下のとおりとします。

まるごと黒部(黒部編) 収集保存担当:あお一よ図書館	まるごと黒部(宇奈月編) 収集保存担当:宇奈月図書館
ジオパーク、名水、黒部川、富山湾、水文学、観光、鉄道(黒部峡谷鉄道以外)、新幹線、流水客土、地場産業、ファスナー、アルミ・サッシ産業の発達、黒部の民俗・風習・伝統文化、黒部の偉人・作家・ゆかりの人物・名誉市民、北方領土、北海道との結びつき、姉妹都市	山岳、登山、電源開発、ダム、温泉、黒部川、黒部川扇状地、鉄道(黒部峡谷鉄道)、橋、宇奈月の偉人・作家・ゆかりの人物・名誉市民

4 図書館の目指すところ

(1)市民の文化力の向上に寄与する図書館

①市民の知的好奇心や本との出会いを楽しめる図書館を目指します。

②子どもたちの郷土愛を育むふるさと教育につながる図書館を目指します。

③市民の文化や歴史を学ぶ活動に役立つ図書館を目指します。

(2)誰もが気軽に利用でき、憩いの場のある図書館

- ①市民の憩いやくつろぎの場に役立つ図書館を目指します。
- ②市民に開かれた図書館運営を目指します。
- ③あおーよ図書館は、他の機関と機能融合を図るクロスアシスト事業を実施し、付加価値の高いサービスを提供します。

(3)時代と共に成長する図書館

- ①市民の暮らしに役立つ図書館を目指します。
- ②市民の課題解決に役立つ図書館を目指します。

5 具体的施策・事業

(1)市民の文化力の向上に寄与する図書館

①市民の知的好奇心や本との出会いを楽しめる図書館を目指します

全市的なサービス	・第2次サービス計画、第3次子ども読書推進計画等の策定 ・計画的な資料収集、整理と利用者の更なる利便性向上
館内サービスの向上	・接遇、レファレンス等技術向上
本との出会いの創出	・配架の工夫、可動書架の活用 ・企画展など滞在しながら学べる機能
知的好奇心を満たす	・学びや趣味の情報提供 ・多種多様なイベント開催 > 図書に絡めた体験型イベント > 新規利用者層の開拓につながるイベント > 多種多様な企画展示 ・パスファインダー(※)の整備

※パスファインダー:特定のテーマに関する文献や情報の探し方、調べ方の案内。

②子どもの成長に役立つ図書館を目指します

《全般》	・次世代を担う子どもたちの豊かな感性を育む機能 ・本との出会いや読書の魅力に触れる機会を与える機能 ・知的好奇心を刺激する資料展示、配架 ・読書の楽しさを伝える工夫 ・国際理解教育(英語を中心に他言語のことも)
《対象別》乳幼児	・親子でおしゃべり、ゆっくり安心して過ごせる場所 ・子育ての支援情報を収集し、提供 ・子育て支援センターと連携し育児講座等を開催 ・子ども向けイベントの充実 ・子どもとともに親も学べる場所 ・ブックリスト(※)の作成・配布 ・保育所、幼稚園等への支援
《対象別》児童	・学校図書館との連携の強化 ・学校図書館支援用図書の整備 ・学級招待

《対象別》 ヤングアダルト	<ul style="list-style-type: none"> ・ヤングアダルトコーナーの充実 ・進学・就職情報の提供(パンフレットや問題集の受入も検討)
------------------	--

※ブックリスト:発達段階に応じておすすめ本を紹介するリスト

③市民の文化や歴史を学ぶ活動に役立つ図書館を目指します

地域情報の収集保存	<ul style="list-style-type: none"> ・2館の役割分担による「まるごと黒部」の設置、収集 ・黒部市に関する資料の網羅的収集 ・富山県に関する資料の積極的収集
地域へ情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ・地元の人物や名品を紹介する企画展を定期的に開催 ・市の内外に向けて黒部をブランディング
デジタル化への取組	<ul style="list-style-type: none"> ・行政資料や歴史文書等のデジタルアーカイブ化 ・黒部の雄大な自然や文化、風習などのデジタル映像化

(2) 誰もが気軽に利用でき、憩いの場のある図書館

①市民の憩いやくつろぎの場に役立つ図書館を目指します

誰もが利用しやすい環境を整備	<ul style="list-style-type: none"> ・親しみやすく話しかけやすいスタッフの育成 ・明るく過ごしやすい閲覧スペース ・自然が感じられる、ゆったりと滞在できる空間 ・読書環境を維持しつつ会話が弾み、議論・交流ができる空間
誰もが楽しめる場の提供	<ul style="list-style-type: none"> ・期待感をもって来館できる仕掛け ・イベント開催を通じてサークル活動が立ち上がるような仕掛けづくり ・市民の関心を引く幅広い分野のイベントを数多く開催し、利用者層の拡大を図る取組

②市民に開かれた図書館運営を目指します

図書館活動を広報	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページ、SNS を利用した情報発信や交流ができる機能 ・企画展やイベント、図書館サービスの広報 ・ホームページの機能向上、アクセシビリティの向上
市民と協働	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館の運営に幅広い市民の参加と協働を求め、市民目線で管理運営できる機能 ・自己評価、第三者評価の実施
ボランティア	<ul style="list-style-type: none"> ・多様なボランティアの育成(図書整理、企画展示、読み聞かせ等) ・ボランティア自らが活動を考え行動する組織化の取組 ・ボランティア間の交流と活躍できる場の提供

③あおーよ図書館は、他の機関と機能融合を図るクロスアシスト事業を実施し、付加価値の高いサービスを提供します。

他の機関と連携	<ul style="list-style-type: none"> ・市内外の他の施設との連携により、イベントや新サービスの展開 ・交流センター内でクロスアシスト事業として実施(公民館、子育て支援センター、移住・人つなぎ支援センター等との連携) <ul style="list-style-type: none"> ➢調理室との連携による食や栄養に関する講座の開催 ➢ワーケーションなど新しい働き方の事例紹介等 ➢育児講座や読み聞かせ等子育て支援との連携 ➢学生や若年層(UIJ ターン)への情報提供と交流の場の創出
---------	--

(3)時代と共に成長する図書館

①市民の暮らしに役立つ図書館を目指します

つなぐ機能	<ul style="list-style-type: none"> ・地域性や時代性を大事にした収集 ・地域情報や行政情報の充実により、図書館の情報力が人や地域をつなぐ機能
ライフステージに合わせた情報提供	<ul style="list-style-type: none"> ・入門書から専門書までライフステージに合わせた資料を充実させ、多様なライフスタイルに対応できる情報提供
デジタル化	<ul style="list-style-type: none"> ・デジタル機器の維持管理と更なる活用の検討 ・国会図書館デジタル化資料送信サービス等の利用促進 ・IC化による利便性の向上と利用者プライバシーへの配慮 ・デジタル利用券の推進 ・電子書籍についてコンテンツの状況や周辺の動向を注視しながら導入について研究を進める
利用者サービスの拡充	<ul style="list-style-type: none"> ・未利用者層を呼び込む仕掛けづくり ・図書館から離れてしまった層を呼び戻す活動 ・郵送貸出等来館困難者への対応

②市民の課題解決に役立つ図書館を目指します

情報提供	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれのキャリアに合わせた情報提供できるよう資料や情報を収集 ・地域課題を反映した蔵書構成
スタッフの資質向上	<ul style="list-style-type: none"> ・職員研修の実施、館外研修への派遣 ・レファレンス記録の作成 ・パスファインダーの整備検討
ビジネス支援	<ul style="list-style-type: none"> ・ビジネス支援コーナーの充実 ・市内産業を紹介する企画展等の開催 ・ハローワークと連携し、就職支援情報の提供 ・商工会議所などと連携したビジネス相談会等の実施検討 ・商用データベース端末の利用促進 ・移住・人つなぎ支援センターとの連携による、職業選択や UIJ ターンに有益な情報提供のための資料収集
行政支援(※)	<ul style="list-style-type: none"> ・市役所各課との連携による各課紹介コーナーの充実 ・行政支援、議会図書館支援への可能性
子育て支援	<ul style="list-style-type: none"> ・連携事業、講演、イベント、資料収集
暮らし支援	<ul style="list-style-type: none"> ・医療・健康、法律等についての資料収集
高齢者への支援	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の読書活動を支える資料の収集 ・セカンドライフ充実の企画やイベント ・認知症の方にやさしい本棚の設置(※)

障がい者への支援	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館利用に支障のある利用者向けの資料収集と福祉機器等の整備（ユニバーサルデザインによる施設整備、サービス充実、備品等の設置） ・障がい者に対する学習支援（サピエ※）、対面朗読等） ・郵送貸出の充実
----------	--

※行政支援

市役所各部署からの質問や調査依頼に迅速に回答したり、地方自治に関する図書リストを提供したりするサービス。今後も可能性を秘めているサービス分野。

※認知症の方にやさしい本棚

認知症を学べる本、介護保険の解説本、認知症当事者が書いた本、関係するパンフレット等を集めて常設することにより、地域で認知症の方を支援しようという取組。

※サピエ

視覚障がい者及び視覚による表現の認識に障がいのある人に対して、点字、デジータータをはじめ、暮らしに密着した地域・生活情報など様々な情報を提供するネットワーク。

第4章 蔵書計画

1 基本的な考え方

厳しい財政状況下にあって、新しい図書館サービスの展開や多様化・高度化する市民の生涯学習ニーズに応えるためには、今後も限られた予算で計画的かつ効率的に図書館資料の収集を行うことが課題となっています。

蔵書の魅力ある状態を維持し、発展させるためには、収集するだけでなく、利用頻度が低下する等魅力の少なくなった蔵書は書庫へ移動させ、使用に堪えなくなった、または情報が古くなり時代にそぐわなくなった蔵書は除籍するなどの蔵書管理（メンテナンス）を行うことが重要です。

資料収集・資料管理等の基準を以下のとおり明確にして、図書館資料の質と量の両面にわたる充実、整備に努めます。

その上で、第1次黒部市立図書館サービス計画では「図書館の設置及び運営上の望ましい基準」（平成24年12月19日文科科学省告示第172号）の目標基準例として示された「貸出密度上位の公立図書館整備状況 2011における人口4万人～5万人の自治体が設置した図書館」（以下「類似規模の図書館」という。）の上位10%の平均数値を参考にして、蔵書数等の目標を設定しました。あおーよ図書館開館時の令和5年度現在、概ね目標値どおりに推移しており、今回の計画では、これまでの実績値を参考に微調整をして目標値を設定しています。

2 収集方針

(1)目的

この方針は、黒部市立図書館条例（平成18年3月31日黒部市条例第173号）第3条に規定する事業を十分かつ円滑に運営するため、黒部市立図書館における資料の収集に関して必要な事項を定めることとしています。

(2)基本方針

ア 図書館は「知る自由」と「学ぶ権利」を持つ住民に、資料と施設を提供することを社会的に保障

する機関です。黒部市の歴史、地理、風土、行政、経済その他の地域的特性を基盤として、地域の公共図書館としての役割を踏まえ、市民の学習、文化、教養、調査研究、実用及びレクリエーションなどに資する資料を幅広く収集します。

イ 広範囲にわたる市民の要求や関心、潜在的ニーズ、社会的な動向も反映させ、将来的な利用も視野に入れて、組織的、体系的な蔵書構成に努めます。

ウ 多様な意見、対立する意見のある問題については、それぞれの観点に立つ資料を幅広く収集します。

(ア) 著者の思想的、宗教的、政治的な立場にとらわれず公平、公正に収集します。

(イ) 個人、組織、団体からの圧力や干渉に左右されずに収集します。

(3)各館の収集方針

あお一よ図書館と、宇奈月図書館は、それぞれの施設の規模、地域性及び館の機能に応じた蔵書構成に留意し、黒部市立図書館として、体系的な資料の充実を図るものとします。

ア あお一よ図書館は、専門図書、参考図書、行政資料の収集のほか、宇奈月図書館の資料収集を補完します。

イ 宇奈月図書館は、一般教養、実用、趣味、娯楽等に資する資料のほか、調査研究に資する基礎的資料を収集します。

(4)種類

ア 図書(一般図書・参考図書・児童図書・外国語図書等)

イ 地域資料(郷土資料・行政資料等)

ウ まるごと黒部コーナー資料

エ 逐次刊行物(新聞・雑誌等)

オ 官公庁刊行物

カ ユニバーサルサービス資料

キ 視聴覚資料

(5)資料別収集方針

ア 図書(一般図書・参考図書・児童図書・外国語図書等)

(ア) 一般図書は、市民の学習、教養、実用及びレクリエーション等に資するため、入門書や実用的な図書、専門的な図書まで、市民ニーズや利用頻度も踏まえてバランスよく収集します。

(イ) 参考図書は、市民の調査研究のために必要な辞典、事典、年鑑、名鑑、目録、書誌及び地図等を幅広く収集します。

(ウ) 児童図書は、子どもが読書の楽しみを発見し、読書習慣の形成と継続に役立つ資料及び調査研究のための資料を幅広く収集します。

(エ) ヤングアダルト資料は、黒部市の学校図書館との連携のため、特に中学生、高校生が関心のある分野を幅広く収集します。

(オ) 外国語図書は、在住外国人の娯楽や生活、日本語学習に役立つ資料を収集し、英語を中心に、居住者や使用頻度の多い母国語で書かれた資料を収集します。また、市民の国際的な視点を育むために多読(※1)資料も収集します。

(カ) 新鮮で魅力的な蔵書構成を維持するため、新刊書を中心に収集しますが、古典、良書又は各分野の基本書として定評のある既刊書も幅広く収集します。

(キ) 多様なニーズに応える蔵書構成とするため、複本の購入については慎重に対応します。

イ 地域資料(郷土資料・行政資料等)

富山県内の関連資料、特に黒部市に関する資料はあらゆる資料を網羅的に収集します。

(ア) 郷土資料

黒部市の郷土や文化に関わる資料。図書を中心として収集しますが、新聞、雑誌、地図、写真、パンフレット等幅広い種類の資料を収集します。

(イ) 行政資料

黒部市の行政関連資料は網羅的に、富山県の資料は基本的な資料を収集します。

(ウ) 人物・住民資料

黒部市にゆかりのある人物についての資料、および市民の著作や市民の活動や業績を記した資料を収集します。

(エ) 職業選択や UIJ ターンに有益な情報を提供するため、市内や県内の企業及び地域で活躍する人々を紹介する資料を、移住・人つなぎ支援センターと連携しながら収集します。

(オ) その他資料

文学については富山県出身者の作品、富山県を舞台にした作品を広く収集します。

ウ まるごと黒部コーナー資料

黒部、宇奈月それぞれの地域特性に合わせ収集してきた特色ある資料群を更に発展的に活用するため、黒部市を特徴づける分野について積極的に収集します(p10「まるごと黒部」表参照)。

エ 逐次刊行物(新聞・雑誌等)

(ア) 新聞は、主要全国紙、地方紙を収集します。

(イ) 雑誌は、国内発行の各分野における基本的な雑誌を中心に、児童及び青少年向きのものを含めて収集します。

(ウ) 年鑑、年報、白書等は、一般図書及び参考図書に準じて収集します。

オ 官公庁刊行物

政府諸機関が発行する資料については、主要なものを収集します。

カ ユニバーサルサービス資料

図書館利用にハンディキャップのある方へのサービスのため、大活字本、録音図書(CD)、LLブック(※2)、点字資料等を収集します。

キ 視聴覚資料

(ア) 映像・音声資料(DVD、CDなど)は、主に郷土資料に関するものに特化して収集します。

(イ) 映像資料(DVDなど)は、著作権処理の済んだものを収集(※3)します。

※1 多読

やさしい英語をたくさん読むことで英語力の向上を図ること。原則として ①辞書は引かない ②分からないところは飛ばして読む ③つまらなくなったらやめる の3原則が挙げられます。

※2 LLブック

知的障がいのある人や母語を異にする人など読むことが苦手な人のために、読みやすいよう工夫して作られた本のこと。やさしく書かれた文章、ピクトグラム、イラスト、写真などを使って作られています。

※3 映像資料(DVDなど)は、著作権処理の済んだものを収集

映画以外の著作物の複製物(書籍・雑誌・音楽 CD など)は「営利を目的とせず」「借りる人から料金を徴収しない場合」に自由に貸与できるという著作権法の規定がありますが、映画にはその適用がないため、貸与するために購入する場合は、「著作権処理済み」の資料を選ぶ必要があります。

3 資料管理等基準

(1)管理

ア 資料の配架場所

(ア) 開架書架(閲覧室)には、刊行年が新しい、又は利用頻度の高い資料、各分野の基本資料
調査研究に必要な参考資料を中心に配架します。

(イ) 閉架書架(書庫)には、利用頻度の低くなった資料、貴重資料等保存を優先する資料を中心
に配架します。

(ウ) 貴重資料室(書庫)には、黒部市・富山県に関する閉架資料を中心に配架します。

イ 禁帯出資料

以下の資料は、原則として館内閲覧とします。

(ア) 参考資料(辞書、事典、図鑑等、調査研究に必要な資料)

(イ) 貴重資料(資料的価値を持つ資料)

(ウ) 合本製本雑誌(長期保存のため逐次刊行物をまとめて合本製本した資料)

(エ) 状態悪いが保存が必要な資料

ウ 特色ある資料

各図書館は各地域の特性に合わせ「まるごと黒部コーナー」資料を提供します(p10「まるごと
黒部」表参照)。

エ 所蔵変更

収集した資料は、各図書館の利用促進につなげるため、適宜所蔵館の変更を行うことで、蔵書
の全市的運用を図り、魅力的な蔵書構成を維持します。

オ 団体貸出用資料

学校支援等に供する資料で、団体貸出制度の規定により運用します。

カ 個人文庫

個人により寄贈・寄託された資料で、特定分野の研究を目的として収集し、歴史的・学術的に価
値あるものを多く有する資料群については、その個人名を冠し、個人文庫として管理します。

(2)保存

ア 資料の保存

資料の保存機能は、公共図書館の責務の中で重要な役割であることに鑑み、収容可能冊数の範
囲において資料の優先度を位置付けて保存します。

イ 分担保存

特色ある資料にあげた資料は各地域館で、そのほかの資料は基本的に中央館で保存します。

ウ 図書の保存

(ア) 一般図書

各主題分野の基本となる概論書、理論書などで資料的価値が高いものは1冊保存します。

また、文学、その他芸術作品については、受賞作をはじめ歴史的価値のあるものは1冊保存し
ます。

(イ) 児童図書

読み継がれてきた絵本、児童文学のうち、評価の定まった作品について、1冊保存します。

その他の主題図書は、資料的価値のあるものは1冊保存します。

(ウ) 地域資料

地域資料は、原則として全ての資料を保存します。ただし、複本については必要数保存するものとします。

(エ) 重点収集、特色ある資料

重点収集した資料及び特色ある資料(p10「まるごと黒部」表参照)は、基本的には除籍せず、収集保存担当館に集めて1冊保存します。

エ 新聞の保存

新聞の種類により保存期間を決定します。呉東図書館協会で黒部市が保存担当になっている富山新聞は製本して永年保存しています。

オ 雑誌の保存

雑誌の内容により保存期間を決定します。資料的価値の高い雑誌は、適宜、図書として受入登録して閲覧に供し、図書の保存基準に沿って保存します。呉東図書館協会で黒部市が保存担当になっている雑誌(中央公論、文芸春秋、アサヒカメラ)は永年保存しています。

カ 複製による保存

貴重資料並びに劣化・破れ等が原因で直接閲覧することが難しい資料については、著作権に留意しつつ、デジタル化等の複製を積極的に行い、原資料の保存に努めます。

(3) 除籍基準

ア 目的

黒部市立図書館が所蔵する図書・視聴覚資料・その他の資料(以下「資料」という。)を常に新鮮で有効な利用状態を維持するとともに、資料の更新を円滑に行い、書架スペースの有効活用を図ることを目的として、除籍基準を設けています。

イ 除籍対象資料

(ア) 亡失資料

- a 利用者が紛失した資料で、同一のものが弁償不可能なもの
- b 転居先不明等により、貸出した日から2年を経過し、返却の見込みがないもの
- c 蔵書点検で所在不明となった資料で、不明が発覚した日から2年を経過したもの

(イ) 汚損・破損資料

汚損・破損の程度が甚だしく、修理・製本できないもの

(ウ) 不用資料

- a 改訂版、増補版、新装版、同傾向図書等の新版購入により、利用価値の低くなった資料
- b 年月の経過及び内容の変更により、その利用価値が低くなった資料
 - (a) 政治・経済・社会状況の変動のため、利用価値が低くなり、保存しても利用が見込まれない社会科学関連資料
 - (b) 科学技術の進歩により、その内容が過去のものとなった自然科学、工学、産業、情報処理関連資料
 - (c) 日常の変化に伴い、実用書としての役割を果たさなくなった家庭生活関連資料
 - (d) 競技方法の改訂に伴い、役に立たなくなったスポーツルールブック
 - (e) 新聞・雑誌で保存年限を経過したもの

(エ) 保管転籍

(オ) その他 館長が除籍を必要と認めたもの

ウ 除籍対象としない資料

- (ア) 行政資料・郷土資料・地域資料
- (イ) 各主題分野の基本的、資料的価値を有する資料
- (ウ) 類似する資料が存在しない、又は極端に少ない資料
- (エ) 再び収集することが困難で高い資料価値を有する資料
- (オ) 保存分担の取り決めがあるもの
- (カ) 重点収集、特色ある資料(p10「まるごと黒部」表参照)
- (キ) その他館長が必要と認めた資料

エ 除籍の決定

除籍資料明細書を作成し、館長の決裁を受けるものとします。ただし、輕易なものについては、この限りでないものとします。

オ 除籍資料の無償譲渡

除籍資料については、他の公共図書館、市内の学校、公共施設、読書推進団体、利用者等へ無償で提供できるものとします。

4 数量的目標

(1) あおーよ図書館

資料の収集・保存・整理・提供機能の確保とともに、調査・研究支援や課題発見・解決支援、生涯学習支援、市民の交流の場としての中核機能を備えた様々な役割が求められる中で、現在のフロアスペースを最大限活用し、少なくとも50年程度の使用を基本に考え、蔵書の数量的目標を定めています。

ア 蔵書数

(ア) 全体蔵書数

「類似規模の図書館」の上位10%の蔵書冊数の平均が240,456.6冊であることから、2館の総和から宇奈月図書館の収蔵能力(5万冊)の約50%を控除して、あおーよ図書館の蔵書冊数は約22万冊を最終的な目標値とします。

(イ) 開架・閉架の割合

「類似規模の図書館」の上位10%の蔵書冊数のうちの開架冊数の平均が161,385.8冊であることから、宇奈月図書館の開架能力(3万冊)を加味して、約13万冊をあおーよ図書館の開架の目標数とします。

この目標数は全蔵書数の60%に相当し、5冊のうち3冊を公開とする蔵書バランスを意識しながら、開架書架上の必要な蔵書の更新を行います。

(2) 宇奈月図書館

資料の充実を図る一方で、書架スペースが飽和状態になっています。

現状の開架・閉架冊数を維持しながら資料収集・資料管理等基準に沿った蔵書鮮度・バランスの最適化に取り組むとともに、必要な資料がいつでも誰でも利用できるよう図書館資料の整理に努めます。

<参考:蔵書数シミュレーション>

年度	館名	開架					閉架			年度末蔵書数
		購入費	購入数	寄贈数	開→閉	開架計	開→閉	除籍数	閉架計	
R2	あお一よ	9,036	4,656	495	-6,000	66,000	6,000	-12,385	89,800	155,800
	宇奈月	1,920	1,080	533	-2,000	32,300	2,000	-5,215	22,700	55,000
	計	10,956	5,736	1,028	-8,000	98,300	8,000	-17,600	112,500	210,800
R3	あお一よ	13,942	7,002	493	-9,000	64,500	9,000	-15,506	83,300	147,800
	宇奈月	1,208	768	541	-2,000	31,700	2,000	-1,165	23,600	55,300
	計	15,150	7,770	1,034	-11,000	96,200	11,000	-16,671	106,900	203,100
R4	あお一よ	13,790	7,145	741	-3,000	69,400	3,000	-1,808	84,500	153,900
	宇奈月	1,210	799	272	-3,000	29,800	3,000	-6,488	20,200	50,000
	計	15,000	7,944	1,013	-6,000	99,200	6,000	-8,296	104,700	203,900
R5	あお一よ	12,500	6,900	750	15,000	92,100	-15,000	0	69,500	161,600
	宇奈月	2,500	1,250	400	-1,500	30,000	1,500	-1,332	20,400	50,400
	計	15,000	8,150	1,150	13,500	122,100	-13,500	-1,332	89,900	212,000
R6	あお一よ	12,000	6,500	600	-4,200	95,000	4,200	0	73,700	168,700
	宇奈月	3,000	1,600	400	-2,000	30,000	2,000	-2,200	20,200	50,200
	計	15,000	8,100	1,000	-6,200	125,000	6,200	-2,200	93,900	218,900
R7	あお一よ	12,000	6,500	600	-4,200	97,900	4,200	0	77,900	175,800
	宇奈月	3,000	1,600	400	-2,000	30,000	2,000	-2,200	20,000	50,000
	計	15,000	8,100	1,000	-6,200	127,900	6,200	-2,200	97,900	225,800
R8	あお一よ	8,000	4,300	600	-4,200	98,600	4,200	-1,000	81,100	179,700
	宇奈月	2,000	1,100	450	-1,550	30,000	1,550	-1,550	20,000	50,000
	計	10,000	5,400	1,050	-5,750	128,600	5,750	-2,550	101,100	229,700
R9	あお一よ	8,000	4,300	600	-4,200	99,300	4,200	-2,000	83,300	182,600
	宇奈月	2,000	1,100	450	-1,550	30,000	1,550	-1,550	20,000	50,000
	計	10,000	5,400	1,050	-5,750	129,300	5,750	-3,550	103,300	232,600
R14	あお一よ	8,000	4,300	600	-4,200	102,800	4,200	-4,000	84,300	187,100
	宇奈月	2,000	1,100	450	-1,550	30,000	1,550	-1,550	20,000	50,000
	計	10,000	5,400	1,050	-5,750	132,800	5,750	-5,550	104,300	237,100
R24	あお一よ	8,000	4,300	600	-4,200	109,800	4,200	-4,000	86,300	196,100
	宇奈月	2,000	1,100	450	-1,550	30,000	1,550	-1,550	20,000	50,000
	計	10,000	5,400	1,050	-5,750	139,800	5,750	-5,550	106,300	246,100
R54	あお一よ	8,000	4,300	600	-4,200	130,800	4,200	-4,000	92,300	223,100
	宇奈月	2,000	1,100	450	-1,550	30,000	1,550	-1,550	20,000	50,000
	計	10,000	5,400	1,050	-5,750	160,800	5,750	-5,550	112,300	273,100

※逐次刊行物を除く

※購入図書1冊あたり平均単価は1,850円をベースに計算する

※あお一よ図書館開館後の令和7年度までを蔵書集中整備期間とする

※合計値は100単位を切り上げて記載

第5章 計画の推進のために

サービス計画に実効性を持たせるためには、学校教育、社会教育、家庭教育推進の関係者、学識関係者、図書館利用者と図書館行政関係者とが連携・協力して推進体制を整備し、計画の進行管理を定期的に行うことが重要です。

1 推進体制の整備

計画推進には、図書館単体でなく、上記関係者で構成する「黒部市図書館協議会」と図書館行政関係者とが連携・協力して推進していくこととします。

学校、幼稚園、保育所、児童センター、子育て支援センター等と連携して「黒部市子ども読書活動推進計画」に基づく子どもの読書機会の推進を図るとともに、公民館などの教育施設や市の関係機関との連携により、市民の読書機会の拡大を図ります。

また、読み聞かせなどの読書活動や図書館活動に協力してもらえるボランティアの人材育成を行うなど、市民との協働による図書館づくりを進め、常に時代に即した利用しやすい図書館としての体制を整えられるよう努めます。

2 計画の進行管理

本計画は、図書館サービスの現状を検証し、今後のより良い図書館づくりに向け段階的に実施していく計画です。

第3章「図書館サービスの展開」において、図書館サービス充実のための基本方針として、(1)市民の文化力の向上に寄与する図書館、(2)誰もが気軽に利用でき、憩いの場のある図書館、(3)時代と共に成長する図書館の3点を掲げました。それぞれにサービス向上のための方向性を示しましたが、計画の実現に当たっては、各施策の費用対効果を考えつつ、より有効な展開を行う必要があります。

そのためには、計画に位置付けた様々な施策について、毎年度、点検や評価を行い、それを基に実情に即した対応や修正を加えていくことが重要です。

この評価に当たっては、黒部市立図書館による内部評価と黒部市図書館協議会等による外部評価を両輪として計画の進捗状況について毎年度点検を行います。

3 サービス指標の設定

評価手法としては、「黒部市図書館協議会」にて意見聴取等を行うとともに、以下に挙げる評価指標を設定し、定期的に達成状況や進捗状況の検証を行います。

このPDCAサイクルにより継続的な施策・事業の改善を行い、図書館サービスの推進、向上を図ります。

<図書館サービスを評価する指標(2館合計)>

評価指標	H27年度末	H30年度末	R4年度末 (現状値)	R5年12月末(*) (参考:現在値)	R8年度末 (目標値)
入館者数	102,110	103,472	82,177	77,531	138,000人
登録者数	12,495人	10,519人	9,578人	11,570人	15,000人
実質登録者数	3,468人	3,518人	4,164人	2,889人	5,400人
貸出冊数	180,313冊	201,206冊	197,303冊	119,788冊	278,000冊
貸出密度(※)	4.31	4.88	4.96	3.02	7.50
予約受付件数	10,543件	17,009件	18,392件	10,480件	25,000件

(※)貸出密度 = 貸出の冊数 ÷ 定住人口

(*)R5年12月末現在の数値は、旧黒部館(4/1~5/31)及びあおーよ図書館(10/6~12/28)の合計値